

市民公益活動推進助成金(平成22(2010)年度交付分) 決定内容

＜■初動支援5件、申込額454,000円、決定額275,000円 ■自主事業8件、申込額2,457,000円、決定額1,744,000円【合計】13件、申込額2,911,000円、決定額2,019,000円＞

No.	コース	団体名/事業名	決定	申込額	決定額	交付条件/不交付理由	市民公益活動推進委員会からの意見
1	初動支援	天竺のはらっぱであそぼう会 天竺のはらっぱであそぼう!	交付	100,000	100,000	特になし	子ども達が身近に自然と触れあいながら、自由に遊べる場所として「天竺のはらっぱ」を開放するという本事業は、今年度から本格的に取り組み始めた事業にも関わらず、すでに土曜日の参加者が100人を超えています。これは、貴団体が地域に根付いたイベントとするための工夫や努力を着実に重ねてきたことの表れだと思います。 今後、助成金に頼ることなく継続して事業を行うためには、賛同者を積極的に募るなど財源を確保するとともに、地域の他のグループと協力・連携することによって新たな担い手を広げていくことも必要です。今回の助成金を有効に活用し、自立に向けて一歩ずつ着実に成長してください。
2	初動支援	蛸池北町ボランティアの会 蛸池北町を活性化するための事業	交付	54,000	54,000	特になし	この申込事業は、地域コミュニティを形成していく上で、まず身近な範囲で集まれる場をつくるのが大切であるという問題提起と受けとめました。今後はより地域の人たちの交流を深め、貴団体のめざす「世代を超えたコミュニケーションづくり」につなげていくために、様々な世代が参加しやすいようなイベントの開催や、広報の充実などに取り組むとともに、自治会や公民館など他の地域活動団体と協力・連携した活動を検討するなど、活動の継続・自立に向けた取組みを進めてください。
3	初動支援	永楽荘わんわんパトロール隊 永楽荘わんわんパトロール隊	交付	100,000	21,000	特になし	貴団体の活動は、愛犬の散歩をしながら防犯・環境美化活動を行うものですが、愛犬家のみ活動にとどまらず、地域全体の安心安全づくりにつなげようとしておられる点を評価しました。ただ、本助成金の審査にあたっては、その事業の「公益性」や「地域貢献性」といった基準とともに、「先駆性」といった基準も重要です。貴団体の活動内容は既に他地域で事業化されたものであり、その活動が広く地域に認知されつつあることを勘案すると、活動そのものに対する助成ではなく、他地域への発展普及に必要な経費のみが助成対象となります。今後、事業をさらに発展させ、貴団体の独自の事業モデルを作り、その事業が他の地域へと普及するよう、取り組んでください。また、これを機に、これまで接点の少なかった自治会などに積極的に働きかけるなど、より多くの市民の利益につながる活動へと発展されることを期待します。 ＜助成額算定の考え方＞ まだ取り組まれていない地域や市民へのはたらきかけや、手法・ノウハウの提供など、より広がりを持たせる活動に助成することが当助成金の趣旨ですので、申込内容のうち、掲示板製作費用、ポスター、ちらしの経費に対して助成することとします。 ・助成額: (23,000円+4,000円+2,000円)×0.75=21,000円(千円未満切捨て。事業総額の4分の3以内)
4	初動支援	SMILE編集部 とよなか子育て情報誌「SMILE」 創刊	交付	100,000	100,000	特になし	貴団体のプレゼンテーションは、子育てをする立場から抱いた問題を解決するために、より実用性の高い情報誌を作成したいという意欲が、その目的とともに明確に示されるなど、非常に分かりやすいものでした。 これから活動を進めていくにあたり、他の子育て団体との連携を図るとともに、子育て中の人に限らず、子育て経験のある人や編集技術を持つ人などにも広く参加・協力を呼びかけ、継続的な情報誌の発行に向けた体制づくりに取り組んでください。また今後は、インターネットの活用も視野に入れるなど、より多くの人々に活用されるような工夫も考えてみてください。貴団体の今後の着実なステップアップを期待しています。
5	初動支援	ダンワールド岡町スタジオ 子どもと母親の脳教育	不交付	100,000	0	委員会からの意見にあるとおり、本事業が地域課題の解決や社会貢献にどのようにつながるのかを明らかにできていないこと、また予算面で営利事業との区分の透明性が十分でないことから、不交付とします。	プレゼンテーションからは、ヨガスタジオの経営によって得られた脳教育の知識・技術を、普段スタジオに参加できない人たちのために役立てたいという貴団体の思いが伝わってきました。 しかしながら、事業計画書やプレゼンテーションを拝見した限りでは、本事業が貴団体の営利事業の普及・啓発にとどまっており、本事業を通じて地域のどのような課題を解決し、また、どのような社会貢献を行おうとしておられるのかなど、事業の公益性が明らかにされていませんでした。また、営利活動として行う事業と本事業の予算が明確に区分されておらず、予算面からの透明性の確保が十分ではありませんでした。 今後、貴団体が豊中市において公益活動を行うにあたってのミッションを再確認され、再度申し込まれることを期待します。
6	自主事業	特定非営利活動法人 とよなか市民活動ネットワーク (仮)とよなか市民活動ガイドブック	交付	200,000	200,000	特になし	貴団体は、平成16年度に当助成金を活用し、ガイドブックを作成しておられます。今回、貴団体が提案された、ガイドブックを作成するプロセス、すなわち、豊中市にある5つの中間支援組織を含めたワーキンググループによって検討するという体制は、現在、中間支援組織が抱える課題の解決につながるという点で非常に有意義なものであり、期待しています。 一方で、今回の事業計画書では、本事業に前回の成果と課題がどのように反映されるのか、また、「豊中における市民公益活動の活動基盤強化に貢献」という事業目的の達成のためにガイドブックをどのように活用するのかなどが不明確であり、冊子としてのガイドブックを作成する必要性が乏しいと言わざるを得ません。 作成にあたっては、配布対象者や活用方法をワーキンググループを通じて再確認し、事業の趣旨を団体間でしっかりと共有した上で、取り組みを進めてください。また、ホームページへの掲載など、より多くの利用者が活用しやすい情報発信や更新方法も検討してください。
7	自主事業	アクア ジャズ オーケストラ 市民が創るJazz音楽祭	交付	450,000	450,000	特になし	今回、活動目的を同じくする「千里ジャズフェスティバル実行委員会」と協働して、より効果的に貴団体の活動を展開しようという本事業は、新たな試みであり期待が持てます。 しかし、事業計画書では、事業の担い手の広がりや他団体との協力・連携、地域にどのような効果をもたらすのかなど、事業展開や地域貢献のための手法が明らかにされていませんでした。より公益的な活動として実施していくためには、単に一部の人たちによる趣味の活動発表に留まらず、これまでジャズ音楽とは無縁であった市民や学生をうまく惹きつけることが重要です。彼らを観客のみならず出演団体やフェスティバルの実行委員として巻き込むなど、本当の意味での「市民による」ジャズフェスティバルの開催をめざし、着実に地域に根付かせるような仕掛けを考えてください。また、今後の事業の継続と自立化に向けて、より一層、担い手や財源の確保に努めてください。

市民公益活動推進助成金(平成22(2010)年度交付分) 決定内容

＜■初動支援5件、申込額454,000円、決定額275,000円 ■自主事業8件、申込額2,457,000円、決定額1,744,000円【合計】13件、申込額2,911,000円、決定額2,019,000円＞

No.	コース	団体名/事業名	決定	申込額	決定額	交付条件/不交付理由	市民公益活動推進委員会からの意見
8	自主事業	服部緑地ファミリー自然教室 服部緑地ファミリー自然教室～ 自然観察・自然工作による自然 体験活動～	交付	380,000	167,000	同事業について、独立行政法人 国立青少年教育振興機構の「子どもゆめ基金」にも応募されているという事ですので、当該助成金の交付の結果が判明した場合には、予算書の変更等の手続きをしてください。 当助成金の前払い請求の受付は、変更等の手続きとします。	貴団体が実施している事業が、リピーターを含め、多くの参加者を集めていることは、自然観察・工作体験などイベントのテーマや教材の充実に努めるなど、これまでの経験を活かした工夫とともに、積極的な助成金獲得の努力による成果であると思います。 一方で、現時点での予算書では、事業経費を賄う収入が助成金と貴団体の年会費だけであり、自立に向けた取組みが見られません。今後、本事業を継続的にかつ自立的に展開するためにも、過度に助成金に依存しないよう、自主財源の確保に積極的に取り組む必要があります。今後は、材料費の一部を参加者負担とする、賛同者から寄付を募る、近隣の小学校で行われている「地域子ども教室」と連携して経費を分担するなど、積極的な財源確保に取り組んでください。 ＜助成額算定の考え方＞ 自立に向けた検討を進めていただくため、以下を助成額算定から除くこととします。 (1)クラフト材料提供者謝金70,000円 (2)活動スタッフ交通費252,000円 (3)チラシ及び教材印刷代の単価を20円とする。チラシ(A4両面)@20×2×200部×14回=112,000円と教材印刷代(A4片面)@20×110部×3回=6,600円のみを必要額とする。 よって、224,000円-112,000円-6,600円=105,400円 ・助成額:(総事業費762,000円-70,000円-252,000円-105,400円)×0.5=167,000円(千円未満切捨て、事業総額の2分の1以内)
9	自主事業	現代版 寺子屋 現代版 寺子屋	交付	66,000	66,000	特になし	貴団体の活動は、子どもたちが学校や家庭では触れる機会が少なくなった日本の伝統文化を知り、実際に体験できる貴重な場となっています。前回の交付決定時には、当委員会から自主財源確保についての意見を伝えましたが、今回の予算書には教材費や寄附金等、多様な収入が計上されており、自立に向けて努力を重ねておられることが伝わってきました。こうした活動の成果は、参加者数など数字だけで表されるものではありませんが、活動を継続的に行うためには、参加者や賛同者がある程度増やすことも必要です。今後、教える側の人についても広く参加を呼びかけることや、子どものみならず大人も一緒に伝統文化を学ぶ場を提供するなど、新たな参加者、賛同者を獲得する方法について検討してください。
10	自主事業	レインボーサークル 障がい児療育支援のある0歳～ 3歳のインクルーシブな親子保 育事業	不交付	500,000	0	委員会からの意見にあるとおり、自主事業として本事業を進めていくには、事業計画や組織体制が十分に整っておらず、助成による効果が見込めるか不確実であるため、不交付とします。	貴団体の提案は、療育と保育の狭間にある現状の障害児保育に対する重要な問題提起であると受け止めました。このように、潜在的なニーズが掘り起こされ、これを解決するための市民活動が地域に広がることは、すべての人々にとって住みやすいまちを実現するためにも重要であると考えています。 しかし、貴団体の事業計画書では、これまでの活動が今回の申込事業にどのように活かされるのかが明確に示されておらず、さらに「助成金を受けることによる効果」として挙げられた地域(豊中市)でのネットワークを構築していく手法については具体性に乏しいものでした。また、今回の申込書類とプレゼンテーションを拝見した限り、貴団体は事業の立ち上げと組織体制の基盤づくりに取り組み始めた初動期であり、自主事業として活動の自立・発展に向けた取組みを進めていくには、まだ十分に課題や目的が整理できていないように見受けられます。 問題意識が明確であり、法人化を視野に入れるなど、継続的な活動に意欲的であることから、もう一度貴団体の中で目指すべきミッションと事業目的について十分に話し合い、事業内容を整理した上で、再度、応募されることを期待します。
11	自主事業	豊中だがしや楽校実行委員会 豊中だがしや楽校フォーラム 「手塚治虫と私たちの社会・子どもたちの未来」	交付	235,000	235,000	特になし	平成19年度からの2年間の助成金を活用して、貴団体が地域に根ざした活動を着実に続けておられることをうれしく思います。また、プレゼンテーションからは日ごろの活動を通じて新たに見つけた課題である「岡町・桜塚商店街の活性化」に対する熱い思いが十分に伝わってきました。 今回の申込事業は、5周年の節目にフォーラムを開催し、報告書を作成するというものですが、事業計画書にはこの記念イベントを日ごろの活動の発展にどのようにつなげていくのか、といった具体的な取り組み内容などについて示されていませんでした。本記念イベントを地元で効果的に還元するためにも、参加者への働きかけや報告書の内容および配布先について十分に検討・工夫する必要があります。また、予算書では、収入として事業収益からの補填を計画されていますが、平成20年度決算を見る限りでは、計画どおりの十分な収益が見込めるのか不確実な部分があります。来場者や賛同者から寄附を募ることや報告書を販売することなど、財源確保の方法もあわせて検討してください。 本助成金を有効に活用して5周年記念事業を成功させ、貴団体の活動をさらにステップアップされることを期待しています。
12	自主事業	豊中和太鼓サークル連絡会 第10回豊中和太鼓祭り	交付	170,000	170,000	特になし	平成20年度からの2年間の助成金を活用し、広報活動を充実させることで、貴団体が集客数や参加者数を着実に伸ばすと同時に、様々な地域ネットワークを構築し、より地域に根ざした団体へと成長していることは、助成金の意義の観点からも非常にうれしく思います。 また、来場者のアンケート結果を分析して次につなげる努力や、ワンコインスポンサーを募るといった資金集めの工夫などにより、多くの市民と共に舞台を作り上げていく手法は、他の市民活動団体にとってもよい手本となるものです。今回の第10回のイベントを機に、さらなる活動の充実と助成金に頼らない運営の確立に向けて、着実に取組みを進めてください。今後も、プレゼンテーションや報告会などの場で、活動を通じて得られた知見を他の市民活動団体と積極的に共有していただくことを期待しています。
13	自主事業	豊中平和演劇祭実行委員会 第3回豊中平和演劇祭	交付	456,000	456,000	特になし	戦争を知らない若い世代に、戦争の悲惨さ、平和の大切さを伝える演劇の上演に向けて、ワークショップを行い、若い人たちと共に舞台上で演じるという取組みは、鑑賞する立場とは異なる視点からの気づきをもたらすものであり、その効果が期待されます。 貴団体の掲げる事業目的を達成するためには、このワークショップを活かすことが最も重要であり、若い人たちへの積極的な働きかけが必要ですが、事業計画からはその取組み内容が明確ではなく、必要経費も計上されていませんでした。開催時期等の制約もあり、学校との連携は現状では難しいかもしれませんが、継続的にかつより効果的な事業を行うためにも、今後は小・中学校や高校の演劇部との協力・連携体制の確立を模索するなど、恒常的に若い人々を巻き込んでいく方法を具体的に検討してください。また、目標とする参加者数を集めるために、より一層の広報活動の充実に努めてください。 今後、人権まちづくりセンターや公民館の取組みとの連携を図るなど、継続・自立に向けてのネットワークづくりや財源確保に取り組む、本事業が豊中市の夏のイベントの一つとしてより多くの市民に親しまれる演劇祭となることを期待しています。